

センターだより

第86号

令和8年4月20日 発行

副所長あいさつ

副所長 川崎 淳平

10年前に茨城県つくば市で、アメリカの小学校（Elementary School）で6～7歳の子どもたちに対して行われているプログラミング教育について、アメリカ人教師から直接伺う機会に恵まれました。日本でも2020年4月からプログラミング学習が小学校で必修化されましたが、その4年前のことです。子どもたち自身が「何マス進んで右折して」といったプログラムを、手のひらサイズの車の教材に直接入力して走行させ、マス目が描かれたマット上のゴールを目指す、といったゲームのような授業を映像と実物で紹介していただきました。プログラミング教育の必要性については、私自身、情報化社会だから…程度にしか捉えていませんでした。しかし、映像内の子どもたちは、自ら考え仲間と話し合いながらプログラムを入力し、車がコースを外れて失敗すればまた相談してプログラムを入れ直す、といった行為を何度も繰り返していました。アメリカ人教師によると、プログラミングに関する知識・技能の習得が目的ではなく、筋道立てて物事を考える論理的思考力や失敗を許容する寛容性の育成がプログラミング教育の主眼であるとおっしゃっていました。今思い返すと、次期学習指導要領の柱にもなる「主体的・対話的な深い学び」の実装を具現化したような授業だったと思います。また、子どもたちが垣間見せてくれた「失敗したって何度でも」といった姿勢は、子どもたちが主体的に自分の未来を切り拓いていくための礎であり、我々教職員にとっても必要な不易であると再認識させられた記憶があります。

さて、当センターでは、各種研修講座の開催、校内研修や教科指導に係る指導主事の派遣、教育相談等を主な業務とし、教職員の資質向上と「不登校・いじめ対応」「インクルーシブ教育の浸透」といった様々な学校課題の解決に向け、所員一丸となって子どもたちと学校の支援に取り組んで参ります。また、今年度から所内に遠隔教育推進課を設置いたしました。国の動向として、理数系人材育成の重要性が高まっていることを踏まえ、県内5つの県立高校（鱒ヶ沢高、野辺地高、三戸高、三農恵拓高、五所工科高）に在籍する生徒に、今年度は数学と物理の遠隔補習を、そして令和9年度からは、年間2単位以上の数学と物理の遠隔授業を展開していく予定です。子どもたちの学力伸長はもちろんのこと、個別最適な学びの充実やデジタル技術を活用した新たな学び方など、本県教育の今後の在り方に一つの道筋を切り拓くべく、「失敗したって何度でも」という姿勢で、遠隔教育の可能性を探って参ります。夏以降、配信の様子を当センターのホームページでも紹介していけるかと思っておりますので、どうぞご期待ください。

センター事業（研修、研究、教育相談）の紹介

「新しい時代に必要となる資質・能力」を育む“教師力”の向上を目指して

研修

職務研修、教科研修、教科外研修講座等、多数の研修講座を開設します。タブレットPCを扱う講座、聴講可能な講座等もあります。

研究

研究員研究、センター研究など、実践的・先導的な研究をし、学校現場へ還元します。また、これらの成果を「あもり教育研究発表会」や当センターWebページ等で発表及び提供します。

教育相談

いじめや不登校に関すること、学習のつまずきや遅れに関すること等、本人・保護者・教職員のどなたでも相談できます。



青森県総合学校教育センター
イメージキャラクター

アプセくん

研修講座について

テーマ 「“新しい時代に必要となる資質・能力”を育む“教師力”の向上」
を目指し、次のように研修講座を開催します。

- 1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を目指し、学校現場で実践することをゴールに見据えた研修を提供します。
- 2 令和の日本型学校教育を担う「新たな教師の学びの姿」の実現を目指し、課題設定や振り返りを含んだ演習・協議等の手立てを工夫した研修を提供します。
- 3 学校、先生方の課題や悩みに寄り添い、その実践と意欲をサポートします。

今年度の各課オススメ講座

今年度も各課では、日々の業務や実践に役立つ多彩な講座を企画しています。最先端の理論や実践事例について、大学教員やNITS職員を講師に招き、講義及び演習、協議を実施しています。ここでは、その中から各課が特におすすめする講座を紹介します。内容に関心のある方は、ぜひ積極的にご参加ください。

義務教育課

C02 小学校 教科指導ICT 基礎講座

7/27 (月)

9:30～16:00 (1日)

【講座概要】

1人1台端末や生成AIなどICTを活用しながら授業の質を高める実践について、講義や演習を通して指導の在り方を学び、授業改善と教員としての資質能力の向上につなげます。

※8年度は算数、理科、外国語を、9年度は国語、社会、図工を実施する予定です。(定員50名)

【次のような先生方にオススメ!】

- ICTを活用した授業をしたい方や授業改善に生かしたい方
- 教科指導におけるICTの基本的な活用方法を知りたい方

特別支援教育課 おすすめ講座 『インクルーシブ教育実践シリーズ』

「授業づくり」×「学級づくり」から考えるインクルーシブ教育

D20

インクルーシブな学びを支える
通常の学級の授業づくり

7月1日(水)
早稲田大学大学院
教授 高橋 あつ子 先生

学びのユニバーサルデザイン
(UDL)の視点から多様な学び方
に配慮する授業づくりを学びます。

より多くの子供たちが
安心して
学べる学級づくりへ

D21

インクルーシブな学びを支える
行動理解と学級づくりの工夫

7月9日(木)
横浜国立大学
准教授 神山 努 先生

ポジティブな行動支援(PBS)の
視点から、子供の行動理解と学級
づくりを学びます。

高校教育課

D02 高等学校 総合的な探究の時間 研修講座

9/16 (水)
10:00~16:00 (1日)

【講座概要】

所属校の強みや生徒のよさを生かした探究的な学びを進めませんか。探究の過程を意識した横断的・総合的な実践事例や、生徒が探究している姿とはどのような姿なのかを考えることを通して、探究の意義や価値を一緒に理解しましょう。

【次のような先生方にオススメ!】

- 総合的な探究の時間について探究したい方
- 教科において探究的な学びを実践したい方

産業教育課

D27 生成AI基礎講座

6/10 (水)
9:00~12:00 (半日)

【講座概要】

教育においても生成AIの活用が進む中、使用方法に不安を感じていませんか。本講座では、GoogleのGeminiを使用します。生成AIの基本的な仕組みや、指示文の出し方、授業や校務での活用に関する知識・技能の習得を目指した演習中心の講座です。先生方の仕事や児童・生徒への指導の場面で、「どう扱えばいいのか」「子供たちに何を教えればいいのか」について学ぶことができます。(全校種対象 定員30名)

【次のような先生方にオススメ!】

- 初めて生成AIを使用する方
- 生成AIを授業や校務で活用されたい方



教育相談課

D13 今日から始める不登校 対策研修講座

6/11 (木)
10:00~16:00 (1日)

【講座概要】

不登校児童生徒は依然として増加傾向にあり、その対応は校種を問わず喫緊の課題となっています。本講座では、明治大学の諸富祥彦先生を講師に迎え、子どもの視点に立った「不登校体験の本質」を理解していきます。そして、不登校を予防する方策の一つとなる、「子どもたちが安全・安心に通える学校づくり」について、協議と演習を交えて学んでいきます。

【次のような先生方にオススメ!】

- 不登校を予防するための方策を知りたい方
- 不登校児童生徒に起こっている「からだの変容」について知りたい方

遠隔教育推進課

※令和8年度に新設された課です。

D36 遠隔教育基礎講座

8/5 (水)
10:00~16:00 (1日)

【講座概要】

本県では教育環境の変化に対応するため、遠隔授業の整備が進んでいます。本講座では、実際に来年度から本格的に授業で使用する配信センターの設備やアプリ「MetaMoJi」を用いて研修を行います。「ICTで授業はどう変わるのか?」をテーマに、従来の授業をアップデートする具体的なスキルを身につけませんか?(定員30名)

【次のような先生方にオススメ!】

- 遠隔授業の仕組みや最新の機材活用に興味がある方
- 授業でのICTの活用事例や効果的な評価方法を知りたい方

今後の「センターだより」内で、講座の様子を紹介いたします。

2026年1月13日「ICT教育ニュース」参照

青森県では、地理的制約や学校規模による教育格差を解消するため、最新のビデオ会議デバイス「Neat」を県内5校に導入しました。「遠隔教育センター」を拠点に、専門性の高い授業を県内全域へ配信します。Neatの直感的な操作性と高品質な映像・音声により、対面に近いスムーズな双方向授業を実現します。令和10年度までに持続可能な遠隔教育基盤を確立し、小規模校の魅力向上と多様な学びの両立を目指します。



青森県の未来を拓く 「遠隔教育推進課」の新設と今後の展望



令和8年度 センターセミナーの紹介

不登校児童生徒への支援

講師:FR教育臨床研究所 所長 花輪 敏男 氏

日時:7月25日(土)9:30~15:30

場所:青森県総合学校教育センター



不登校対応の第一人者である花輪敏男氏を講師にお迎えし、これまでの経験を踏まえ教師や家族の具体的な対応をまとめた「FR式不登校対応チャート」を中心に、ご講義いただきます。不登校に対する考え方も変わり、相手の立場を考えた対応の仕方等、不登校対応に関心のある方にとっては、実り多い時間となること間違いありません。

申込期間:5月7日(木)~7月10日(金)

下記のURLまたは右の二次元コードよりお申し込みください。
当センターWebページ・総合案内からも申込みできます。

<https://forms.gle/y1tyr2hanuBqjns6>

【担当課】教育相談課 TEL:017-764-1990



校内研修等講師派遣事業、教科指導等サポート事業の紹介

校内研修等講師派遣事業について

学校が抱える教育課題等の解決に向けて、教員の資質・能力の向上を目指して行う校内研修等に講師として指導主事を派遣し、研修の活性化を図るとともに教育活動を支援する事業です。

テーマは、「学習指導」、「生徒指導・教育相談」、「特別支援教育」となっており、実施方法は「対面」または「オンライン」から選択できます。昨年度は140件以上お申込みいただきました。詳細につきましては、当センターWebページ「学校サポート」内の要項・リーフレットをご覧ください。

教科指導等サポート事業について

県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員から寄せられる教科指導等の質問に対して的確な情報を提供し、サポートする事業です。以下の質問に対し、情報を提供します。

教科：教科・科目等に関わること

教科外：総合的な学習（探究）の時間、特別活動、キャリア教育、自立活動等に関わること

質問入力フォームに質問を入力していただきますと、1～2週間程度で担当の指導主事が電話、電子メール、オンライン等で回答いたします。詳細につきましては、当センターWebページ「学校サポート」内の要項・リーフレットをご覧ください。

当センターWebページの「学校サポート」から、
それぞれお申込みいただけます。

<https://www.edu-c.pref.aomori.jp/>



図書資料室の紹介

県内の教職員や当センター研修講座の受講者を対象に、図書の貸出しを行っております。

貸出期間 : 2週間以内
貸出冊数 : 5冊まで

昨年度の貸出し件数は、のべ1,067件でした。7月末から8月上旬にかけて、1回目の**新着図書のご案内**をさせていただく予定です。

今年度も多くの皆様にご利用いただけるように準備しておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



教育相談について

当センターでは、県民の皆様や学校教職員のニーズに応える目的で、来所や電話等による教育相談を行っています。

まずは**電話**で相談

相談内容の確認、相談方法・日程の調整をします。子ども本人、保護者、教職員の皆様の相談に応じます。電話のみの相談にも応じます。まずはお電話を！

相談申込・お問い合わせ

☎ 017-728-5575 (教育相談課)

☎ 017-764-1991 (特別支援教育課)

実施時間 9:00～17:00
(土日、祝日、年末年始は除く)

※月に1回土曜日に相談を行っています。
詳しい開催日については、当センターWebページでご確認ください。8日前までに、ご予約が必要です。



お子様の健やかな成長を願って
私たちと一緒に考えましょう